

入試年度	2023	入試方式	一般	課程	博士後期
研究科	文学	専攻	史学	領域(分野)	西洋史学
出題のねらい					
<p>I：フェニキア諸都市について述べた研究文献を読み、関連する設問二つを解くという形式です。単に研究文献の内容を理解するだけでなく、そこから読み取った内容と、自身の知識とを組み合わせることで解答することが求められています。</p> <p>II：課題文は、前10世紀前後の時期における、イスラエル王国とフェニキア諸都市の間の友好関係と、その双方にとっての重要性を、関連する史料を提示しながら、多面的に説明しています。こうした文意を正確に読み取り、関連する、自分の持つ知識を結び付けて考察を行うことができるか、を試すことがねらいです。</p>					
解答・解答例または採点時の評価ポイント					
<p>I：第1問は、下線部が指している、テュロスとシドンについて、研究文献から読み取った内容にどこまで自身の知識をつけかわえることができるか、とくにフェニキア期以外にも目配りできるかがポイントです。第2問は大意説明なので、一部でなく、全体を満遍なく要約できるかがポイントです。</p> <p>II：課題文の説明を十分に理解し、過不足なくまとめた上で、受験者が持つ、関連する歴史上の事実や、それらについての解釈などを援用しながら、論評することができるか、がポイントです。</p>					